

平成 20 年度 情報工学コース卒業研究報告要旨

宮尾・八槇 研究室	氏 名	竹 内 育 大
卒業研究題目	多言語資源のための メタデータオーサリング環境の開発	

現在，言語グリッドでは既存の多言語アプリケーションの統合に関する研究が進められている．統合アプリケーションの開発者に必要な情報を提供するために，我々はメタデータを利用したディレクトリ機構（ファシリテータ）を開発している．ファシリテータでは多言語アプリケーションが持つ言語資源のメタデータを管理し，ユーザの条件に一致する対訳文の URI と多言語アプリケーションへの接続情報を返す．しかし，複数の多言語アプリケーションの言語資源のメタデータを統一して管理するためには，メタデータ語彙の規定が必要不可欠である．

本研究では対象とする言語資源を防災情報を扱う用例対訳に限定し，ファシリテータで使用するメタデータ語彙を設計した（図 1）．メタデータ語彙は，OLAC など既存のメタデータ語彙では対訳文の情報を正確に表現することができないため，RDF，RDFS を使い対訳資源，対訳資源が持つカテゴリ，対訳文の三つの部分について新たにクラスとプロパティを定義した．さらに，対訳資源のメタデータの作成を支援するメタデータオーサリング環境を開発した（図 2）．メタデータオーサリング環境はセマンティック Web アプリケーションの開発のためのフレームワークである Jena を使用し，Web 上でメタデータを作成，蓄積可能な Web インタフェースとして開発した．このシステムにより RDF や RDFS といったメタデータを表現する知識がなくても，入力フォームやラジオボタンなどで必要な情報を入力するだけでメタデータが作成可能になった．

今後の課題は，既存のメタデータ語彙との対応付けがある．また，今回は用例対訳の防災情報に付与するメタデータ語彙を設計したが，今後は医療や学校などの領域や，辞書システムといった異なる多言語アプリケーションのためのメタデータ語彙を設計する．

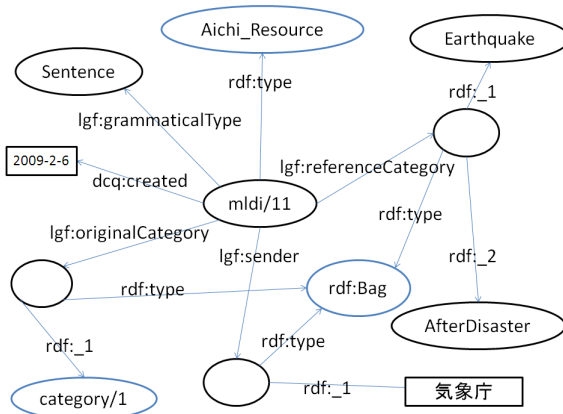


図 1. メタデータ例



図 2. メタデータオーサリング環境

発表実績

- 竹内育大, 八槇博史, 鵜飼真充. 言語グリッドのためのメタデータオーサリング環境の開発. 電子情報通信学会技術報告書, 2009. to be published.
- 鵜飼真充, 竹内育大, 八槇博史. メタデータを用いた多言語資源相互利用の実現. 情報処理学会第 71 回全国大会, 2009. to be published.